令和2年

第3回臨時会

会議録

(第1号)

令和2年7月17日

令和2年第3回 江差町議会臨時会
(第1号)

◎ 期日及び場所

令和2年7月17日(金) 10時00分 江差町役場 議場

◎ 議事日程

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議案第1号 令和2年度江差町一般会計補正予算(第7号)について

日程第 4 議案第2号 令和2年度江差町一般会計補正予算(第8号)について

◎ 出席議員(11名)

議	長	打越東亜夫
副	議	萩原徹
議	員	薄木晴午
		室井正行
		塚本眞
		西海谷望
		小梅洋子
		小野寺眞
		小林くにこ
		出崎太郎
		大門和幸

◎ 欠席(1名)

議	員	飯田隆一
---	---	------

◎ 出席説明者

町	長	照井誉之介				
副	町	田畑明				
教	育	太田誠				
総	務	課	長	中川智		
まちづくり	推進	課	長	尾山徹		
財	政	課	長	斉藤敏己		
税	務	課	長	梅川年代		
町	民	福	祉	課	長	竹内強
健	康	推	進	課	長	白鳥智子

産 業 振 興 課 長	出 崎 雄 司
追 分 観 光 課 長	安 田 克 臣
建 設 水 道 課 長	岸 田 雄 治
高 齢 あ ん し ん 課 長	三 好 泰 彦
出 納 室 長	岸 田 真 由 美
学 校 教 育 課 長	岸 田 礼 治
社 会 教 育 課 長	大 坂 敏 文
総 務 課 主 幹	畑 竜 哉
ま ち づ くり 推 進 課 主 幹	長 尾 恵 一

(議会事務局)

局	長	清 水 直 樹
書	記	森 直 彦

(「ベルが鳴る」)

(議長)

おはようございます。

只今の出席議員は10名です。定足数に達しておりますので、会議は成立致しました。只今から、令和2年第3回江差町議会臨時会を開催致します。

(議長)

本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

(議長)

日程第1、会議録署名議員を指名致します。

会議録署名議員は、会議規則第129条の規定により、5番、西海谷議員、6番、塚本議員を指名致します。

(議長)

日程第2、会期の決定について、を議題と致します。

今臨時会の会期は、本日1日とすべき旨、議会運営委員会委員長から報告がありました。従いまして、今臨時会の会期は、本日1日としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声)

(議長)

異議なしと認めます。よって、会期は、本日1日とすることに決定致しました。

(議長)

日程第3、議案第1号、令和2年度江差町一般会計補正予算(第7号)についてを、議題と致します。

提案理由の説明を求めます。

(議長)

町長。

「町長」(提案理由)

議案第1号、令和2年度江差町一般会計補正予算（第7号）について、でございます。今回の補正の内容につきましては、新型コロナウイルス感染症対応、地方創生臨時交付金事業として、22事業に係る経費の補正をお願いするものでございまして、歳入歳出予算の総額にそれぞれ、1億1,998万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ、63億8,788万5千円とするものでございます。

補正予算の具体的内容につきましては、担当課長より説明致しますので、ご審議の上、ご承認頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

（議長）

はい。次に、財政課長。

「財政課長」（補足説明）

おはようございます。

（「おはようございます」の声）

「財政課長」（補足説明）

それでは、議案書は2頁、3頁をお開き願いたいと思います。最初に、役場保健センター換気空調設備更新でございます。資料は、1頁となります。具体的内容につきましては、集団指導室の空気調和用排風機と、栄養指導室の吸気用送風機が昨年度より、故障して稼働していないことから、環境を徹底するため、機器の取り換えを行うものと、それから、冷暖房機についても、老朽化などにより、十分に稼働で出来ていない状況でございましたので、現行設備が古く、更新出来ないという状況もありましたことから、エアコン3台を設置するものでございます。補正額は、392万3千円、全額国庫支出金、地方創生臨時交付金を充当してございます。

なお、これ以降に事業につきましても、財源内訳は、全額交付金としてございますので、財源内訳の説明は省略し、補正額のみ説明とさせていただきます。

次に、困りごと支援相談員配置でございます。5月27日の第2回臨時会におきまして補正頂きました、相談員配置に係る経費の増額となります。引き続き、町の支援策の他、国、道の支援策や困りごとを相談をして頂くため、8月から翌年1月までの6カ月分の給与等につきまして、増額をお願いするものでございます。補正額は、112万6千円でございます。

次に、役場窓口記載所整備でございます。資料は、2頁となります。住民票の移動など、各種届出の申請などにおいて、申請書や、届出書などの記載の際の感染予防対策を講ずるもので、具体的には、各種、書類を記入する際に、対面とならないよう、窓口前にある円柱の周りに、記載台を設置するとともに、アクリル板の仕切りを設置するものでございます。補正額は、116万7千円でございます。

次に、福祉有償運送事業所給付金給付でございます。資料は3頁となります。高齢

者や、障がい者など、感染した場合に、重症化するリスクが高い方々の移送サービスを実施している、町内の事業所に対しまして、事業の継続及び感染予防対策の推進を図って頂くため、1事業者当たり10万円を給付するものでございます。補正額は、30万円でございます。

次に、高齢者支援へのICT推進でございます。資料は、同じく3頁でございます。町と介護サービス事業所の主任ケアマネとの連携会議などをリモートで実施するなど、新たな生活様式に適應していく環境を整備するものでございまして、貸与する6台のタブレットの購入と、付属機器の購入、通信費等となります。補正額は、87万1千円でございます。

次に、障がい者世帯支援金給付でございます。こちらにつきましては、第2回臨時会におきまして、補正して頂いておりますが、一般財源を充当していた分を交付金に財源更正するもので、12万円を財源更正としてございます。

次に、学童保育所整備でございます。資料は、4頁となります。現在、なかよし児童会は、江差小学校の空き教室を利用しておりますが、3密を防ぎきれていない状況にございますので、元のあすなろ幼稚園を改修し、なかよし児童会を移設するものでございます。内容につきましては、幼児用の便器の取り換えや、トイレの男女別化、下駄箱などの改修でございます。補正額は、1,282万1千円でございます。

次に、1人親世帯支援金給付でございます。これにつきましても、第2回臨時会において、補正を頂いておりますが、一般財源分を交付金に財源更正するもので、12万円を財源更正してございます。

次に、保育所冷暖房機器設置でございます。資料は、同じく4頁でございます。保育所の熱中症対策のため、町内3保育所にエアコンを設置するものでございます。併せまして、私立の幼稚園に設置費用を補助するものでございます。補正額は、473万円でございます。

次に、療術業事業所給付金給付でございます。資料は5頁となります。感染リスクが高いと考えられる、あんまや鍼灸などの療術業の事業所に対し、事業の継続及び感染要望対策の推進を図って頂くため、1事業者当たり、10万円を給付するものでございます。補正額は、60万円となっております。

次に、花曜日フラワーキャンペーンでございます。資料は、6頁でございます。出荷が落ち込んでおります、花き農家の支援策と致しまして、役場を初め、公共施設6か所に花きを飾るものでございまして、補正額は、60万円となっております。

次に、新生活様式対応支援助成でございます。資料は、7頁と8頁でございます。町内に住所を有する、中小企業、小規模事業者、個人事業主が、新しい生活様式を取り入れた感染拡大防止対策に取り組むための、必要な経費を助成するもので、資料8頁に記載しておりますメニューを実施した場合に、助成を行うものでございます。助成率は、10分の9、あるいは、10分の7でございまして、助成限度額等々は、資料、記載のとおりでございますので、割愛させて頂きたいと思っております。補正額は、5千万円でございます。

次に、地域経済活性化支援補助でございます。資料は、9頁でございます。3本の事業につきまして、江差商工会へ補助するもので、商店街活性化のためのスタンプラリーなどのイベント支援、各種制度の利活用状況等の把握のための、地域経済動向調査、商工業者への感染予防物品等の配布の補助となります。補正額は、525万円でございます。

次に、姥神祭りキャンペーンでございます。資料10頁でございます。姥神大神宮渡御祭が中止になったことにより、相当程度、冷え込むことが想定される熱気と消費を少しでも盛り上げるため、動画の作成とホームページでの配信、それから、町内で5千以上お買い上げの方の中から、抽選で100名にオリジナルグッズをプレゼントするキャンペーンを実施するものでございます。補正額は、206万円でございます。

次に、江差割り宿泊キャンペーンでございます。資料11頁となります。江差版の宿泊料金割引キャンペーンでございまして、最高1万円までの割引額を、宿泊事業者に支援するものでございます。割引内容につきましては、資料をご覧いただきたいと思っております。補正額は、広告費、事務費等と併せまして、1,303万円でございます。

続きまして、かもめ島活用観光振興でございます。資料12頁となります。かもめ島を舞台としたイベントにより、観光客の増加を図るもので、島上でミニシアターを実施致します。また、かもめ島からの夕日を広く知ってもらうため、フォトコンテストや鳶屋書店での展示、ラジオCMなども実施するものでございます。補正額は、421万9千円でございます。

次に、江差追分キズナプロジェクトでございます。資料は13頁から14頁となります。新しい生活様式に対応した、江差追分の普及伝習活動に取り組むものでございまして、オンラインによる追分道場を実施する他、動画配信を致します。また、全国大会が中止になったことにより、最後の少年の部に出場出来なくなった中学校3年生の発表会の開催、江差追分セミナーの参加費用の免除などの経費でございまして、補正額は、520万円でございます。

次に、江差マリンビーチ運営でございます。資料は15頁となります。海水浴場の開設経費でございますが、例年、江差高校生に監視員をお願いしておりましたが、夏休みが短縮となり、確保が難しくなったことや、海水浴場での感染防止対策を講じて行くため、今年度におきましては、警備員を配置することと致しました。その経費と感染防止を呼び掛けるための音響設備設置の経費でございまして、補正額は251万9千円でございます。なお、ウニ、ツブまきのイベントは、本年度は中止することとしております。

続きまして、住宅リフォームプレミアム商品券発行事業補助でございます。当初予算で計上してございます、予算の増額補正でございまして、プレミアム券の発行1千万円分に相当する、プレミアム券の発行に係る経費で、プレミアム分200万円と、事務費の補助でございまして、補正額は265万円でございます。

次に、檜山広域行政組合負担金、救急搬送活動等支援でございます。資料は16頁となります。感染した患者や、感染した恐れのある患者の搬送におきまして、感染予

防等の対策を講ずるための備品を整備するもので、防護服や非接触の体温計、救急車内の消毒のためのオゾン発生器などの購入の他、職員の抗原検査費用となります。補正額は、122万6千円でございます。

次に、防災備蓄品整備、防災活動支援でございます。資料は、17頁でございます。避難所における、感染防止対策のための備蓄品等の購入で、ダンボールパーテーションや非接触体温計などを購入するものでございます。補正額は、248万6千円でございます。

次に、小中学校教室等網戸設置でございます。資料18頁でございます。換気と害虫対策のため、江差中学校を除く、小中4校の普通教室と廊下、保健室、職員室の窓に網戸を設置するもので、補正額は、520万4千円でございます。

補正額合計では、1億1,998万2千円でございます。地方創生臨時交付金が、1億2,022万2千円、一般財源は24万円の減でございます。説明は以上となりますので、宜しくお願い致します。

(議長)

以上で、説明が終わりましたので、質疑を許します。
質疑希望ありませんか。

「室井議員」

議長。

(議長)

室井議員。

「室井議員」

去る、7月13日の全員協議会において、今回ですね、地方創生臨時交付金、第2次補正に関してですね、22のメニューを提出案を出してですね、そして、総額、約1億2,000万、私はですね、この部分でですね、ソフト事業だけでなくですね、長年の懸案課題もちゃんと解決しなきゃ駄目だと。要は、両輪で走りなさいということ、申し上げたらですね、今後、臨時議会、また、9月議会にですね、そういう、対応も検討してみたいという答弁がありましたので、その部分に関してはですね、避けますけども、今回ですね、どうしても、今の時期、必要なのかどうなのかっていう判断、私もですね、信念に基づいてですね、質問させていただきますので、ご理解願いたいと思います。

2点あります。まずですね、最初に、かもめ島観光振興事業、これ、ミニシアターですね、今、2百何十万見てます。220万ですか、見てます。これ、具体的にですね、前回の説明ではですね、担当課長、詳しく説明して、時間かかるって言いましたけども、まったく内容に入っていない。内容を説明していない。ただ思いだけ。だか

ら、私は具体的に質問します。

まず1つ。島の上でですね、ミニシアターやる、最大の目的は何なんですか。まず1つ。それと、2つ目。島の上に来てですね、シアターやる、この対象者、誰をターゲットにしているんですか。3つ目。事業主体がですね、観光みらい機構に、220万円で、補助事業として、委託しております。役場職員の応援が必要ないんですね。全部やるんですね、みらい機構で。220万。その辺をですね、もし、役場職員をですね、応援が必要であるならばですね、当然、時間外勤務、発生しますね。発生した場合は、どのくらいですね、この8月、9月、行うのにどのくらいですね、時間外手当、払わなきゃならないか。当然、当然ですね、検討していることと思います。

次に、事業費、みらい機構に220万で、委託事業で発注しています。もし、時間外勤務手当、その他のものが発生したら、まだ、事業費が膨らみますね、そういう具体的な検討もちゃんとしているのかどうかということが1つ。それと、8月、9月、夜間は寒いですよ、夜間。夜の階段の昇降、危険ですよ。どういうふうにして、対策練るんですか。何も説明、受けてませんよ。この辺。そして、今、役場を上げてですね、3密対策、やっています。ずうっと、コロナ対策ですね、職員もですね、色々な対応して、苦労されていると、私は、思いますよ。町民もですね、ちゃんと理解して、マスクしたりですね、買い物には、私も行きますけども、皆ですね、どんなスーパー、どこでも、全部マスクしてですね、カーテン掛けてですね、回避しているんですよ。何故、今、この時期にですね、行わないとならないんですか。非常に、疑問がある。こういう事業は、見直しするべきではないですか。場所の選定も含めてですね、こういう事業は、今、やるべきではない。私は、これは、第1点目のかもめ島観光振興事業に関する、具体的な質問です。

それと、2つ目。マリンビーチ運営。これは、今、警備会社に委託しますね。250万。これは、あれですか、出来高清算ですか。それとも、全部、最所に予算、見ている範囲で、委託してしまうんですか。こういうことは、あり得ないと思いますよ。私は、実費精算が当たり前だと、思うんですが、その辺の明確なですね、基本方針、示して下さい。

(議長)

いいですか。財政課長。

「財政課長」

まず、マリンビーチの警備会社に、委託でございますが、予算と致しましては、フルに開設した日数と、打ち合わせの日数で単価をかけたものでなっておりますが、実際、海水浴場、荒天の場合に、閉鎖することもございますので、その辺は、やはり、出来高という形になろうかとは思いますが、まだ、予算も可決してございませぬし、具体的な部分は、まだ、その警備業者さんと詰めてございませぬので、その辺を念頭に入れながら、具体的な契約を進めて行きたいなと、そのように考えてございます。

(議長)

はい。町長。

「町長」

かもめ島活用観光振興事業の中のミニシアターの部分について、具体的な最大の目的は何であるか、対象者はどうであるか、あるいは、みらい機構への委託、役場職員の協力、時間外勤務は、あるいは、夜間の歩行についての懸念はなど、ご質問頂きました。

まず、この事業に対しまして、室井議員から、今、やるべきではないと、いうことをご発言を頂きましたけれども、我々は、この議案は全て、町として、今、必要な事業として、提案をさせて頂いております。それは、当然、私の考えをしっかりとですね、この予算の中に反映してるというふうに思っております。その上で、この事業の最大の目的は何であるかということをございますけれども、先程、今、この議案の中でも、例えば、姥神大神宮渡御祭が中止になる、もう1つは、9月の江差追分全国大会が中止になる、もう1つ、本来であれば、7月にかもめ島祭りが行われる予定だったものが、中止になった。色んな事業が中止になる中で、江差町の魅力をどうやって3密、あるいは、コロナ対策の中で、魅力をつけていくかと、いうことの1つの案として、このミニシアターを提案しております。決してこれは、役場職員で、だけで決めたことではなくて、観光コンベンション協会、あるいは、江差観光みらい機構とも、しっかりと、お話をしながら、こういうことを事業化して行こう、そしてですね、それを、この今年で終わることなく、来年以降も、継続して、やって行くための、対応を考えて行こうということで、事業を提案させて頂いております。子ども達や、町民、あるいは、観光客に、3密を回避しながら、楽しみを提供する、そして、少しでも、それを、地域の経済効果に繋げて行く、そういう取り組み、新たな取り組みを江差町として、して行くべきだと、私は、考えています。その上で、必要な経費を、今回、お願いしているものでございます。対象はということをございますけれども、当然、かもめ島の上でやる意味というのは、キャンプ場を併設している、自然公園である、かもめ島の上でやるという意味は、観光客の皆さんが中心に、キャンプをして頂いたり、あるいは、足を運んで頂いた方が他の地域とは違う魅力を、この、シアターによって、感じてもらえるような、きっかけ作りをしていくこと。そしてでね、それだけに、留まらず、江差町内の町民の皆さんにも、楽しんでもらえるような、仕掛け作りをして行かなきゃいけないなというふうに思っています。

また、担当課と話している中では、今回、お祭りが中止になったことによる、映像を配信出来ないか、あるいは、町のPR動画を流せないか、色んな案が出て来ています。これを活用しながら、機材を活用しながら、観光PR、そして、観光客の魅力の向上に繋げて行きたいと考えております。

また、委託先がみらい機構であるということをございますけれども、まずは、事業の展開というよりも、この機材の管理をみらい機構が担って、それを、じゃあ、観光

協会さん、あるいは、役場の中で、どうやって、この事業展開を考えて行くのか、細かなところは、しっかり、今後、詰めて行かなければならないのかなというふうに思っています。時間外勤務などの、職員の問題ですけれども、これは、決してですね、1事業に留まることなくですね、1年間で色んな時間外勤務を職員の皆さんにお願いしています。その中で、この部分で、時間外勤務が出て来るのか出て来ないのか。そういうことについてはですね、まだ、この時点でどれくらい必要なのかという経費を皆様に、議員の皆様にお示しする段階にはないと、いうふうに考えております。今後ですね、必要な経費は、既存予算の中でやり繰りしながら、出来る限りの対応をしていきたいと思っております。

また、夜間の歩行についてのご懸念でございますけれども、それも当然、夜間で行うこと、安全性の確保という意味で、特に、かもめ島の上に上がって行く階段のところの灯りをどうするかということは、既に、事務レベルで、話し合いを進めているところで、まったく、対応しないということは、考えておりません。出来る対応をしっかりとしながら、安全対策にも、しっかり、取り組んで参りたいと思っておりますので、ご理解願えれば幸いです。

(議長)

はい。室井議員。

「室井議員」

まず、財政課長の答弁から。事業費決めるのにですよ、想定される契約相手と、そういう話してないでね、予算盛るってことは、あり得るかい。何を考えているんですか。1か月の間に、いいですか。雨降ったら出来ない、風強かったら出来ない。だから、当然、減額もありますよって言う、それ、最初に事業者に言うべきでないんですか。そんな、でたらめな見積もり作ったって、駄目でしょう。実費精算もあり得るって、当たり前でないですか。あなた、財政課長でしょう。常日頃、私が、提案しても、皆、断ってるっしょ。ちゃんと、しっかりして下さい。すぐ、委託先とね、想定される委託先と協議して、こういうこともあり得るんだということを、はっきりしなきゃ駄目でしょ。いいですか、ちゃんとしなさい。それが1つ。ちゃんと答弁して下さい。

それと、町長ね、私は島の上でやるなって、言ってない。島の上、賑やかにね、そういう、賑わい、取り戻すことも大事ですよ。けどなぜ、今、この時期なんですか。寒いですよ、本当に。場所、考えたらいいでないですか、色んな意味で。夜に島の上に高齢者の皆さん、上がりますか。子ども1人で行けますか。親がついて行きますよ。今、町上げてね、3密回避、やってる、こういう事業、おかしいなあと管理職の皆さん思わないんですか。あんた方。課長会議、何やってるんですか。提案すればいいんじゃないんですか。今、待てと。もう少し感染落ち着くまで、検討しよう。どうせやるんだら、もっと、大きくやろうとか。副町長、あんたがそういうこと、なぜ提案出来ないんですか。あんた、事務方のトップだぞ。こういうのを町民、受ける

と思うか。9月に寒くて、誰、行く。夜に。昼間やるんですか。ちゃんとしたい、魂、もってやってもらいたい。もっともっと、根っこのあることに、町の財政ね、臨時交付金だからって言って、全部これ分かってますよ、2次補正の内容を私。とつこの前から、私もらってありますよ。皆さんとね、ちゃんと相談して、町民にね、ああ、やって良かったなあと、良かった良かったと言われるような、事業をちゃんとしなきゃ駄目だと思うよ。副町長。あなたでしょう。ちゃんとしなきゃならないの。駄目ではないですか。こういう事業、何でもかんでも、これ町民、かなりね、今日の議会契機にね、そういうのをやらない方がいいってね、声が上がると、私は思いますよ。9月なんて、本当に出来ると思ってんですか。寒くて。昼間、やるっていうなら、別だよ。ちょっと考え方、やるなとは言いません。私はあえて言いました。場所の選定、時期も含めてね、まだ余裕があるんでないですか。そういうことを私、今質問してるから、ここだけは明解にして下さい。

(議長)

はい。財政課長。

「財政課長」

この、警備会社への予算案に関してのご質問でございますけれども、予算の積算をする際におきまして、その警備会社さんの方には、この補正予算案の積算のために、連絡を取りまして、そういった、その荒天の場合だったり、風が強い場合は、閉鎖になりますよということは、お伝えはしているところでございますが、まず、1日当たり、いくらで、これだけ開いたらいくらになるかという見積もりを、予算積算のために見積書を頂いてたというところで、ございます。それを今回、補正という形をお願いしてたということでございまして、室井議員、おっしゃるとおり、出来高と言いますか、清算、実際に出た、日にちの額で、清算払いとなるように、この、議案が可決致しましたら、具体的に業者さんと協議した上で、そういうような契約をとり進めて行きたいと考えてございますので、ご理解願いたいと思います。

(議長)

はい。室井議員いいですか。

「室井議員」

いや、1つだけ。まだ、答弁ある。

(議長)

はい。町長。

「町長」

先程来、質問頂いているシアターの件でございますけども、当然、それは、役場内の関係課ともしっかりと協議をしながら、最終決断は、私の責任においてこの議案を提出させて頂いております。これが、必要な経費ではないというご議論は、当然、色々なご意見があって、全員に、万人に、賛成を頂けるような、議案というのは1つもないのではないのかなと思っています。その上で、私は、このコロナ対策で、かもめ島の魅力、あるいは、町の魅力を発信して行く上で、1つの魅力の向上に繋がるという自信をもって提案をさせて頂いております。それが、失敗に終わるか、あるいは、すべきではなかったというご批判を受けるか、それは、全て、責任は私にあると感じています。その上で、これをしっかりと、進めていきたいなと思っています。その上で、ご懸念をされております、夜間での問題、寒さの問題、時期の問題など、当然、出て来るのかなというふうに思います。もちろん、大規模なイベントをやろうということではなくて、3密を回避した中で、定期的を開催することで、江差町では、そういう事業をやっている、そういう楽しみがあるというものをPRして行く中で、それを、楽しみにして頂ける方に来て頂くというように考えております。今年もですね、まだ、このコロナ過の中ですけども、かもめ島に上で、グランピングというものを、試験的にやりながら、キャンプ、少し、豪華なキャンプというような位置づけですけども、それを楽しみにするような、層に、アプローチをして行くということ、観光みらい機構を中心に、今、モデル事業としてやって行くところでございます。そういうことをですね、これは、町の予算を使わずに、やって行くことになりますけれども、そういうものをやりながらですね、かもめ島の魅力、もう一度、魅力をですね、皆さんに提示出来るような、そういうかもめ島の魅力向上に繋げて行きたいなと思っています。当然、その上で、前回の全員協議会で室井議員がご指摘の花月の問題、あるいは、設備の問題が、色々な問題が出て来るのかなというふうに思っております。そういうこともしっかりと組み合わせながら、かもめ島の上の魅力、そして、その周辺の賑わいをどうやって作って行くか、そういうことをですね、しっかり形にして行く、そしてですね、住民の皆様、議会の皆様にもですね、あの事業は、このシアターの事業は、最初は色々問題があったけれども、やって良かったなと言ってもらえるように、全力で取り組んで行きたいと考えておりますので、ご理解願えればと思います。

(議長)

室井議員。

「室井議員」

3問目ですから、これで、終わりますけど。町長ですね、かもめ島のね、ちゃんと光らせる、そういうイベントもやることも大事です。私はそれは否定しません。問題は今の時期なんだ、どうなんだ、ということです。私ですね、町長、あなたにはっきり言うけど、あなたが町長に就任してね、当初予算、補正予算、反対したことがありますか。25年間の議会生活で1度もないですよ。当初予算、補正予算に、反対討論も

言うてこともないし、反対したこともないですよ。私がね、25年間の議会活動に、私が、反対して、私が汚点残すかも知れない。それは、議員として当たり前です。何でもかんでもね、いいって言わない。悪いものは駄目。いいものは、全力で応援する。私の心情です。それだけ申し上げて、答弁はいいです。私の質問を終わります。

(議長)

はい。次。塚本議員。

「塚本議員」

はい。今回、関連ある事業が、2つありますが、商工費の新生活様式対応支援助成と加えて、江差割り宿泊キャンペーンの事業について、お伺いします。この事業において、これまで、落ち込んでいる宿泊業者に、しっかり、旅行客に楽しんでもらうと、割安の値段で、楽しんでもらう。それに加えて、そういうような施設に対する、感染症対策をしっかりとやるということは、まさに、当然必要だというふうに考えていますが、事業を提案するだけじゃなくて、私は、この江差割り宿泊キャンペーンについては、色んな、一例、上げますと、全国旅館ホテル生活衛生同業の組合連合会等で、このような施設の宿泊施設に対する、新型コロナウイルス対策ガイドライン、こういうものをきっちり出している。この業態だけでなく、色んなところに出してていますが、江差に来て泊まって頂くためには、江差の旅館業、宿泊業の皆さんは、このようにして、町内外の方々をお迎えしますという、ある意味では、この、新型コロナウイルス対策をしっかりとやっているということについても、アピールして行く必要があると思います。テレビでは、東京都なんかやられていますけども、これは飲食店です。飲食店にしっかり、感染予防対策は、うちはやっていますよと言うものを、町がそれを認定して、ここの店は大丈夫です、是非使って下さい、あるいは、宿泊して下さい。このようにして、江差に来られる方に、安心して宿泊、今回宿泊ですが、宿泊だけに留まらずですね、飲食業、これらについても、江差町で、しっかり予防対策をやっているのを確認済みですよということもPRして、いく必要があるのではないかと考えてます。これ、非常に大事だと思います。この点について1点、答弁お願いします。

(議長)

はい。いいですか。観光課長。

「追分観光課長」

塚本議員から、今、感染対策、宿泊割りの部分で、お話が来ましたので、私の方から答弁させていただきますが、まず、今回の宿泊割りにつきましては、基本的には、内容、皆さんもご存じとおり、今回、北海道で行っている、道民割りをまずベースにやるということをございます。これにつきましては、まず宿泊事業者の方々が、まず、

混乱をしないように、道民割りをやります。それから、他の割引等をやりますということで、そちらの方の混乱がないように、まず、道民割りをベースに同じような、形の割引をさせて頂くということ、まず、提案させて頂いてます。それと、それに伴う、感染対策につきましては、基本的には、まず道民割りににつきましては、北海道新生活スタイルに基づいて、それぞれ、こういった形のガイドラインに基づいて、対策を講じていますということ、まず張り出すことを条件にします。それに基づいて、我々もその同じような形で、そこを取り組んでいるということ、まずPRしていることが、まず条件として、させて頂くということ、まずやっております。改めて、我々の方からも、改めて、この取り組みする際には、宿泊施設の方には、改めて、これらの取り組みを徹底して頂くよう、また、こちらの方から、周知をさせて頂きたいというふうに思いますので、宜しくお願い致します。

(議長)

はい。塚本議員。

「塚本議員」

先程の新生活様式の関係にも関連しますが、これ、宿泊業のみならず、テイクアウトのお店、色んな部分で、きちり示して行く必要があると思います。私も、町の既に、事業をやっている町の飲食店、応援券、相当数、使わせて頂いておりますが、店ごとに微妙に温度差があるのは、皆さん、お感じになっていると思います。やっぱり、それは、一定程度、これ以上のものをしっかりやらせてもらいたい。ここのお店は、絶対安心です。というような、店も、旅館業も目に見える形でね、玄関に張る、そういうことまで、やっておく必要があるんじゃないかと思いますが、その辺は、その道でやっているキャンペーン、やっているからいいんですってということだけに留まらず、目に見える形でね、利用者にきちり、アピールして、安心して使ってもらいたい。もう一段踏み込んだ対策が必要じゃないかと思いますが、再度、質問します。

(議長)

はい。産業振興課長。

「産業振興課長」

今般の、新生活様式の対応支援助成金の目的というのは、まさしく、北海道スタイル、あるいは、新たな営業戦略、そういったものを、それぞれの個店の皆さんが計画性をもって、まず役場に申請をして、それで適当というものであれば、助成をするというような形になっております。それで、塚本議員が、今、質問しておられます、認定といったものについては、まだ、この新型コロナウイルスというものが、何が正解で何が不正解だということは、はっきりしないということです。飛沫対策がいいんでしょうか、空気感染ということも今出ております。ですから、これをやったから全て

安全ですよというものを、町が認定するというのは、まだ、時期尚早ではないのかなというのが、担当としては思っています。それよりは、まずは、皆さんが、この助成金を使って、色んな対策を施して欲しいと、そこから、まずスタートして行きたいと思っておりますので、ご理解願いたいと思います。

(議長)

はい。いいですか。塚本議員。

「塚本議員」

最後になりますけどね。それは私も分かってますよ。これをやったら100%大丈夫ということはないです。ただ、今、現況化で最大限やれることをやっていますよということをね、アピールして行く必要があると思うんですよ。ただ、事業をやる、旅館の割安にします、どうぞいらして下さいでなくて、うちは、ある施設の中で、最大限、入り口に、アルコール消毒を置く、トイレとか、色んな浴槽も、時間を分けて、個別に使うとか色んなやりかたがある。こういう、見ていると思うけども、ガイドライン出てるでしょう。これに添って、きっちりやれる範囲でやってるということをね、お客さんに示していく必要がありますよ、これ。何やっていいか分からないから、今、状況に見ていうのじゃあ、これはちょっと弱いと思う。しっかり、担当部所で、この店は、今の施設の中で、最大限やれることはやっていますよ。安心して使って下さって、アピールしないで、たまに来てさいということにはならないと思うんですよ。もう1件。

(議長)

はい。産業振興課長。

「産業振興課長」

先程も申し上げましたが、今回の新生活様式の対応支援というのは、国の2次補正の中で、地域未来構想20というものが出されております。その中のコロナ社会にですね、強い社会環境整備という中の1つの取り組みということで、私ども捉えております。その中で、町がこの店が安心ですよという認定というのは、中々、難しいんだろうなと、ただ、計画の段階ですよ、それぞれの事業主さんが、安全対策を3密対策、あるいは、快適な空間の整備、もしくは、ソフト事業で、色んなアルコール消毒液だとか、そういうものを購入すると、いうことですから、それぞれの事業主さんが、私の事業者は、あるいは、この空間はそういった対策を講じていますよという工夫をですね、するべきかなと思っております。町があくまでも、この、ここの店は大丈夫です、あるいは対策を講じていますというのは、中々、ハードルが高いのかなと思っておりますので、ご理解願いたいと思います。

(議長)

はい。小野寺議員。

3問目だべ。副町長。

「副町長」

塚本議員のご質問の部分、若干、言いますと、町の認定、ガイドラインで作って、町が、ということの前にですね、今回、こういう、いわば、改修を推し進めて、そういう、感染拡大防止の改修費をこういう形で後押しする制度も出来ましたんで、商工会さん、ほとんど、商工会に加盟している方、商店ですけども、それは、理容室も美容室も宿泊事業者も飲食店も、商工会さんが一定程度のそういう消毒液をおいて、こういうパーテーションをして、こういうことで、というところのですね、きちっと、なったものかどうかは、ちょっとは分かりませんが、いずれにしても、議会でそういう意見が出ていたということと、商工会サイドで、そういった若干なる、安全対策の講じているお店っていう表現のですね、ものを、検討できるかどうかについては、この後、議会の後、ちょっと、商工会さんとお話させて頂きたい。以上です。

(議長)

はい。いいですね。小野寺議員。

「小野寺議員」

ボタン、小林さんの方が先ですよ。

(議長)

小林さんは、押していません。

「小野寺議員」

押していない、押してるよ。

(議長)

小林さん、ちゃんと確認して下さい。

はい、小林議員。

「小林議員」

今回の事業につきましては、感染防止拡大、少し弱のかなと、私自身は感じております。次の予算案としまして、まずは、子育て支援の観点から、ちょっとお伺いします。特別定額給付金の基準日、翌日以降に、出産された方、新生児の子に10万円、給付漏れというか、基準日が決められていますので、交付されていない、そういった、お子さんに給付する、そういった事業も私、必要かなと考えております。

もう1つ、医療提供体制、これを守るためにもですね、インフルエンザの予防接種、平均して、3,500円位でしょうか、これ全町民への全額負担、これをする事によって、インフルエンザと新型コロナウイルスの同時感染、同時流行、そういったことを、医療提供を速やかに提供出来るという、予防策に繋がるのではなかとと思いますが、この点検討如何でしょうか。

(議長)

はい。健康推進課長。なんでよ。今の答弁、町民福祉課長。駄目だったの。町民福祉課長。

「町民福祉課長」

はい。小林議員からの、特別定額給付金、4月27日以降の基準日に対しての、支援策ということでございます。江差町で言うと、年間30人ぐらいのお子さんが、生まれるのかなというふうに思っていて、現在4月27日以降に生まれた、これから、生まれるということで、各自治体、色んな自治体、あるんですけども、年末まで生まれた人に対してはやるよだとか、年度末まで生まれた人にはやるよと、いう支援策は、僕の方でも承知をしております。

現在、今後の感染、江差町だとか、北海道だとか、この辺の感染状況の推移によって、今後の検討課題とさせて頂きたいなというふうに思っておりますので、宜しくお願いしたいと思います。

(議長)

いいですか。はい。健康推進課長。

「健康推進課長」

小林議員のインフルエンザ予防接種での助成ということでのご質問でございます。現在、65歳以上の方と、13歳以下の方の予防接種に対して、全額ではないんですが、補助しているという状況にあります。確かに、全員、町民全員に対しての補助ということもありますが、インフルエンザのワクチンの供給の課題も出て来るかなと思いますので、ちょっと、その辺は、その供給の状況等も鑑みながらの検討ということになるかと思っております。

(議長)

はい。いいですか。小林議員。

はい。小野寺議員。ボタン、押して下さい。

「小野寺議員」

押してあります。

(議長)

何も、押してなかった。今、押したでしょう。

「小野寺議員」

だから。

(議長)

はい。小野寺議員。

「小野寺議員」

だから、小林さんの後、だったっしょ。

(議長)

何なんだ。じょっぱりだって。

「小野寺議員」

はい。何点か、お聞きしたいと思います。それで、個別に聞く前に、前回の議員、全員協議会でも、お話したんですが、先程来の質疑、今の状況をどう抑えるんだということに、繋がるような論議、これからどうなるんだということに関わる論議があったと、思うんです。つまり、江差町として、今の状況をどう捉えるか、更には、東京、関東、札幌などで、広がっている部分も江差町としてどう捉えるか、これ凄く大事なこと、などもありますので、私は、行政報告でもしたらどうでしょうかというふうに、前回、言ったんですが、今日無かったので、質問という形で最初にお聞きします。

それで、この点について2つ、2つ、3つかな。

まず、1つ。やはり、数字は出せなくても、まだ中々難しいと思うんですが、要は今、江差町のコロナの影響、我々町民の暮らしだとか、産業、観光、どんなふうにおさえているか、だからこういう対策。その、事前の前段のどうおさえているかということも簡潔に教えてもらいたい。また、先程言いましたが、東京などで、感染拡大繋がって、それを江差町として、どうおさえるか、これは、また、これからの対策に凄く大事なことだと思いますので、簡潔で構いませんので、お聞きしたい。

それから、そういう点では、前回の補正でついた、それから、今回も継続になりました、困りごと支援相談員、これがもしかしたら、町民とのダイレクトの色んな事例、解決事例も、きっとあったのかな。江差町としてのことが分かる部分かも知れません。この間、補正ついてから、まだ若干日にちしか経っておりませんが、支援相談員の中で、何か特徴的なものがあれば、2、3報告願いたい。

それで、この点で最後ですが、コロナがこれからどうなるのかということで、一番、町民として大事なことは、万が一、感染拡大なった場合に、私達町民はどうなるの、

ということであります。この点について言えば、一番分かりやすく言うと、2次医療圏で、北海道が色々、動いて来ました。今も動いているはずですが。単的にお聞きします。万が一、感染拡大した場合、一番問題なっているのが、重症者、受け入れ先が、こういう田舎は無い。どうなっているの。函館とかですが。そこは、しっかりと論議しているの。そこ、この間の経過、これからのことも含めて、どうなっているか。それから軽症者は、場合によっては、近間だったらホテルだとか、そういう療養、だけど、これ、江差、檜山にあるの、どういうふうに2次医療圏、3次医療圏で論議しているの。それからPCR検査、検査した後、結果、待つまで、1日、下手したら1週間、その時には、待機しなきゃなんない。どこに待機するの。これも含めて、国の方でしっかりと地域で論議しなさいってなってます。北海道とどういう論議があって、我々町民が、その際どうなるのか、とういうことについて、知りえる範囲でお聞きしたい。

次、2、3点かな、具体的なことお聞きします。先程、塚本議員との間で、新生活様式の話、ありました。私も同様に、このことについて、今後、仮に終息したら、積極的に観光客を受け入れるということになるでしょうし、いやいや、ちょっと心配だなという場合に、国の方で、完全に動きを止めない以上は、何らかな、交流、移動、観光客が江差町に来るということある、その場合、2重の対策という意味で、この事業が凄く必要だと思うんですが、旅館業については、先程、論議ありました。私、旅館以外についても、例えば、江差町の直営の観光施設、これは、この間、補正予算等で、措置されている部分もありますが、改めて、この新生活様式で、これは、民間に対する補助事業、これと同じようなことを、江差の観光施設、中村家だ、追分会館だ、場合によっては、開陽丸も含めてですけれども、こういう、対策を全部しているとは到底思えない。民間に対してもしっかりとこれをして、観光客を受け入れる、防止対策もする。同じように、町の施設としてどうなっているのか、何点か、分かる範囲で教えてもらいたい。沢山あります。江差の観光客が対応するところですね。この点です。

それから、後、2つ。次、教育委員会。前回、全員協議会で話したこと確認、もし出来ればですが、保健室のエアコンについて、もし、学校の意向等と聞いていらっしやれば教えて頂きたい。まだであれば、後で宜しいです。この点でもう1つ。やっぱり、中学校の密が、非常に私心配です。前回、6月議会でしたか、資料で見ますと、中学校、1年生と3年生が37人位でしたか。2年生が20人位ですね。広い教室を使っていると言っても、どれぐらいの距離をおいてるのかちょっと分かる範囲で、特に、1学年、3学年、前後、隣、何メートル離れているのか、を教えて頂きたい。更には、クラスの密対策として本当に十分なのか、ということについて、お聞きしたい。

最後です。災害対策。前回全員協議会でお聞きしましたが、もう少し、踏み込んでお聞きします。北海道で、5月12日付けで、避難所運営マニュアルが、改正になりました。私も大急ぎで細かいところを見ているんですが、各地方自体には、このマニュアルに基づいて、直ぐ改正出来るかどうかは別として、頑張ってくれと。ある意味、努力規定的なものになっております。この、良く見ますと、相当程度、色んな設備、

物資の備蓄なども含めて、マニュアルで追加されている、今回のコロナ関係でも出ている、私は、それに向けて江差町も頑張るべきだと思いますが、災害備蓄で言いますと、3月議会で、当初予算で、相当の予算もついて、今回、ついてます。前回説明ありましたが、改めて、北海道の避難所運営マニュアルに仮に基づいたとして、江差町として、まだ、どういう点で足りないのか。私は、まだ、もう少し、避難所に設備、物資を備蓄するという部分があるのではないのかと、細かいことは言いませんが、その点についてお聞きしたい。

最後になりますが、コロナの関係で言うと、やはり、密を防ぐという意味で、分散の提起が、今、今回の、九州なども含めて、実践的に非常に困難になっております。今、江差町として、全部は言いませんが、例えば、大きいところで言うと、江差町役場、収容1,000人、現在のですね、避難所。後、大きいところで言うと、江差町文化会館800人、南が丘小学校800人、これが、密を避けるという意味では、どれ位で抑えて分散しようと、検討されていらっしゃるのか。だとすると、どこを考えているのか。これは、差し迫ったことになるかも知れない。その点について、お聞きしたいと思います。

(議長)

はい。学校教育課長。はい、どうぞ。

「学校教育課長」

まず、保健室のエアコン、更には、その中学校における、その間隔と言いますか、密対策という部分について、ご答弁させていただきます。保健室のエアコン等につきましては、今後、校長会を開催する予定をさせていただきますので、その際に確認をさせていただきます。

2点目。中学校の密の部分につきましては、文部科学省が示しております、新しい学校生活様式っていうところの、現在、江差町では、レベル1ということで取り組みを行っております。

「小野寺議員」

レベル1。

「学校教育課長」

レベル1です。

「小野寺議員」

はい。

「学校教育課長」

と、言いますと、間隔的には、1メートルを確保すると、というようなことを基本に、各学校、対策を取っていうということで、ご理解をお願いします。以上でございます。

「小野寺議員」

なっているということですか。

「学校教育課長」

はい。

(議長)

はい。小野寺議員。多岐にわたっています。それぞれ、課長さんに順番に答えられますので、良く聞いて下さい。

(議長)

はい。まちづくり推進課長。

「まちづくり推進課長」

小野寺議員から、今の現状に関しての、ご質問、あるいは相談支援の関係でご質問ございました。おっしゃるように、本来は、例えば、今の経済状況、観光への打撃、あるいは商店への打撃というところをしっかりと把握して、それに対するところが必要だと言うのは、同じくしています。宿泊に関しては、今データを取ってますが、残念ながら、ちょっと今数字は持ってません。ただダメージが大きいというのは、間違いなく、ただ議会の皆さんから、専決でご承認頂きました連休前の給付金、ここで、まずしっかりと注入しておいて、この後ですね、今日、今、提案しています、商工会への補助金の中で、今の経済状況をしっかりと把握しながら、今後の対策を取って行くということにしてございますので、まずそこはご理解頂きたいと思います。

また、感染の状況をどう捉えるというお話ございました。非常にその、日々刻々と変わってございます。GOTOキャンペーンも、急に今東京が中止になったように、我々も小さな自治体ですから、そこはしっかりと時期を見ながら、内部でしっかりと検討して、対策を打っていきたいというふうに考えてございます。

最後に、支援相談員の関係です。支援相談員、6、7月、それぞれ回ってございます。延べで行けば、6月が100件、7月が10日時点で46件回ってございます。一番言えるのは、やはり個人のご高齢の方々というのは、中々、その制度が理解出来ていないという部分で、今回、この相談員かなり皆さんから喜ばれております。是非ですね、今後もしっかり、サポートして行きたいというふうに考えてございます。以上です。

(議長)

はい。次、健康推進課長。

「健康推進課長」

小野寺議員からの医療体制に関する質問でございます。7月8日の日に、江差保健所が主催、道が主催ということになりますが、新型コロナウイルス感染症に対する医療対策会議という会議がございまして、行政はもちろん、南檜山管内の各医療機関の院長先生初め、事務長の方が揃って、会議を行っております。当然ながら、1回目の会議ですので、情報交換というか、今、自分達のところで、どういう対応をされていて、今後、感染が拡大した時はどういうことが出来るだろうか、というところも、持ち帰りになった会議でございます。これから、何度か、会議を開催し、保健所と致しましては、感染が拡大するとか、インフルエンザ等流行って来る、秋以降、秋頃までには、一定程度の対応と言うか、医療体制の構築に向けて行きたいというふうにお話をしておりました。以上です。

(議長)

はい。次、追分観光課長。

「追分観光課長」

小野寺議員から、数字の関係等、今後の対応を先程、まちづくり推進課長の方からもありましたけれども、具体的な部分で言うと、先程、言ったように、GOTOキャンペーン等、始まっているということで、始めるということで、関東圏の感染拡大等も今問題になってますが、我々としても、こないだ、13日の議員全員協議会の方でも、述べさせて頂いたとおり、まずターゲット的には、まず道内の観光客をターゲットに、メインにして行きたいというふうな考え方は持っております。それと、数字的なところで言うとですね、宿泊の部分で言いますと、この4月、5月が非常に、落ち込んでいるという状況が大きくて、宿泊で言うとですね、工事関係者入っている部分はある程度、確保は出来てるんですが、一般的な観光客で言うと15%とか20%、昨年比で、程度です。それと、6月に入って来て、今、人の動きが若干出て来ておりますけれども、まだまだ宿泊施設では、一般的な観光客受け入れという部分では、4割から5割の観光客的な部分の流れかなというふうに捉えております。それと、後、施設的な部分で言うと、観光施設の流れで言うと、閉館していた部分も一部ありましたけれども、今の段階で、うちの観光施設、6月に段階では、およそ昨年比の、それぞれ違いますけれども、大体20%を切る位、前後の、入込というような状況になっています。それぞれ感染対策ということも先程言われておりましたけれども、内部の方でも色々と施設の協議はした中で、それぞれガイドラインと言うかですね、作りながらということ、行ってます。感染予防対策と併せて人数の制限ですとか、それぞれ取り組みしています。特に、文化財の施設については、1日の入り込み15人、マックス15人、1回で入れるのが15人未満ですとか、追分会館であれば、内部の方で、

座席を開けてマックス50名までということでのですね、ガイドライン作りながら、感染防止対策を取り組みながら、それぞれ制限をしながらやっているという条件でございますので、ご理解頂きたいというふうに思います。

(議長)

はい。次、総務課長。

「総務課長」

避難所のですね、備品の整備状況の関係でございます。今年度の国の第1次補正で、臨時交付金の配分によりまして、新型コロナウイルス感染拡大防止に係る備蓄品をまず、整備を、今、現在、購入等の手続きをしているところでございます。

また、今回の補正によりまして、追加する非接触式電子体温計だとか、ダンボールパーテーション、作業用手術カバーなどを整備することによりまして、まず、コロナの感染防止に係る備蓄品については、整備出来るというふうに、思っております。また、それ以外の備蓄品につきましてははですね、今年度、300万円の予算がついております。現在、順次購入手続きを実施してですね、納品予定というふうになっております。なお、元年度から4ヵ年、令和4年度までで、備蓄品の目標、数量に近づけるようにですね、計画的に今のところ、整備を行っております。今のところ、食料品だとかの部分については、足りない形になっているんですが、これについては、セブンイレブンさんとの協定によりましてですね、災害時に保管出来るということにもなっております。また、生理用品だとか、おむつの部分にも、今のところ不足していますが、これについても計画的に整備していく予定でございますのでご理解願います。

また、避難所の開設ですが、避難所の運営については、想定している人数が、かなり多い人数というふうになっております。発生した災害の状況によってはですね、若干、変わって来ますが、避難所の収容人数をプールしながらですね、あらかじめ、指定した避難場所でも、大きい避難場所、例えば学校だとか、そういう部分を十分使っておりますので、開設をするということで、通常の災害発生時よりも、可能な限り多くの避難所の開設を図って行きたいというふうに考えておりますので、ご理解願います。

(議長)

はい。小野寺議員。

「小野寺議員」

はい。議長。

総務課長。細かいのは改めて別ところで取り上げますが、まだ具体的に、きっと、まだ江差町として、この道の先程言った、改定に、国、国もそうでしょうけども、まだ、細かいとこまで、まだ全部作業は終わってない、です。終わってないですね。なので、急ぎ、本当に、例えば、南が丘ふれあいセンターで、一応480人ってなって

ますけれども、これ、現実問題、パーテーション置いて、3密を避けたら、本当に何人入れるの。じゃあ、そこに想定していた人が、入れないとすると、どうするのっていうのは、本当に、大変な、事務方の作業だろうと思うんです。それによって、また、備蓄品だって、必要な物だって、必要になって来るかも知れない。去年、江差町で作った備蓄計画を見直すことだって出て来ますよね。道のマニュアルの改訂したことによって、新たなものが出て来る。ということなんで、ちょっと急いでこの点については進めてもらいたいと思います。

議長、申し訳ない。2つ再質問をさせていただきます。

まず、学校の件なんです、課長、分かりました。それで、ちょっと教えて下さい。レベル、国のレベルは、感染者が一定程度あるところについては、もう少し距離を取りましょうと。ここは、レベル、それ程でもないの、そんなに距離を置かなくていいと、この2段階のレベルになっております。問題は、先程もちょっと、出崎課長からもありましたが、今、飛沫の対応については、空気感染もあり得る。つまり、かなり、広いところにコロナの感染ということについては、十分な対策が必要、この短い距離で大丈夫なのかなという点なんです。江差町の場合、空き教室がありますから、あえて、1クラスでなくて、37、8人ですから、それを割る2で、2クラス、2クラスなどもすれば、今まで以上の3密対策を出来るはずだと思うんです。これは、もう教育長、決断だと思うんですよね。問題は教員、臨時教員なども含めて、至急、採って、これから半年、1年、下手したら2年続くか、って言われてますね。だとすると、今から、中学校の密を、対策を取ることが、私は必要だと思いますが、教育長の見解を伺いたい。

後、最後になります。一番は、これから感染者が増えるかも知れない。増えたとしても、かつてのように8割、9割、動きを止める、ということは出来ないかも知れない。国の考え方。そうすると、やはり一定程度、観光客が来た場合、しっかりと、PCR検査なども含めて、出来ることは地元でやる。北海道の動き、ちょっとどうなのかよく分かりませんが、今、色んな各自治体で、地元の、江差国保病院ありませんけれども、民間の病院も積極的にPCR検査、抗原検査、抗体検査、これについて、費用も出していく。すべからくというのは難しいでしょうから、リスクの一定程度、高い人、観光業の窓口の人、町の観光関係の窓口、民間の窓口、それから、保育所、保育士、保健婦さんもそうですね。それから教員など、一定程度、リスクの高い人達は、国、道がやらないんだったら、自治体が定期的に、一か月に1回か、2週間に1回か、さっき言った、PCR、抗原、抗体、1つだけでは中々はっきりしない。確立が高いので、言われているのは、2つを兼ねそなえて、こうやれば、ある程度、仕事もきちり出来る、観光客の受け入れることが出来る。こういう対策も是非、次の残り、1億何ぼですか。の中で、是非ね、私はやってもらいたい。これはもう、町長の決断であります。町長の見解を伺いたいと思います。

(議長)

はい。学校教育課長。
教育長。

「教育長」

小中学校の密の部分でございます。具体的には、江差小学校、江差中学校が該当になるかと思えますけれども、先程、学校教育課長の答弁にもあったとおり、今の、新しい学校の生活様式の基準によると、この地域については、拡大感染地域には該当しないというふうなことで、感染対策を十分しながら、出来るだけ通常の授業をなささいと、学校教育活動をなささいと、いうふうなガイドラインが出されておりました、これに基づいて、我々、実施しておりますけれども、この中ではですね、身体的距離、これが1メートル、マスクをした条件でと、いうふうな形で、今、現在、授業を実施しております。小野寺議員、言われたようにですね、空き教室等を活用して、この学級を2つに分けてするとか、そうなりますと、教員の問題がですね、単純計算しても、その分倍が必要だというふうなことでございますので、現在は、無理だと考えております。トータルな部分でですね、感染症対策というのは、行うべきだと考えておりました、この辺りはですね、各学校にお願いしているところでございます。例えば、登校時の健康チェック、検温チェック、それから、熱中症対策、授業中における教室の換気対策、それから、授業における工夫、例えば、体育なんかもですね、密着するような、そういう種目はしないであるとか、あるいは、音楽は出来るだけ、体育館でやるとか、それから、表で実施するだとか、そういったものもしておりますし、消毒も、校内、児童生徒がですね、よくケガするようなところは、十分にですね、教職員が消毒しているというふうな形でですね、対応して参りたいと考えておりますので、宜しくお願いします。

それから、保健室の関係でございますけれども、これについてはですね、先程、学校教育課長答弁したとおりですね、校長会等の機会にですね、聞いてみたいと思えますけれども、ただ、これにつきましてはですね、クーラーにつきましては、6月に扇風機を導入して、そして、今回、網戸等、お願いしているところでございますので、現在のところですね、クーラーについてはですね、設置については、考えておりません。十分とは言えませんがですね、熱中症対策についてはですね、各学校において、教職員全員でですね、児童生徒を見回り、熱中症対策については、十分、防止についてですね、徹底して参りたいと考えておりますので、宜しくお願いします。以上です。

(議長)

副町長。

「副町長」

PCR検査の関係を答弁させていただきます。小野寺議員、知ってのとおり、道立病院を中心に、今、民間病院含めて、南檜山圏域で会議が重ねられております。あまり、

中身の突っ込んだお話は出来ませんが、道立病院側の意向としても、検査、検体の検査の部分は、増やしたい意向を持ちつつ、民間の病院はどうなのかということも、それから、近隣で言うと、国保病院のところ、それぞれある訳ですけども、江差町の、としての立場的に言うと、民間病院さんで、仮に検査が出来るとしたとしても、民間病院さんの意向的には、やはり検査が出来る。町民は安心かも知れませんが、病院側が検査をする病院ということで、とらまえると、一般のやっぱり、経営に響くということです。そういった状況も含めて、単なる検査をあっちでこっちで、出来ればいいんだということではございませんので、今、道立病院を核として、どこまで、検査体制を増やせるかということは、もう少し、また、時間を置きながら、情報は、きちっとおろしたいと、このように思っていますので、宜しくお願いします。

(議長)

いいですね。

「小野寺議員」

ちょっと、議長。

(議長)

小野寺議員。

「小野寺議員」

あの、教育長、副町長。やるやらないは、別として、その例えばですよ、PCR検査やるとしたら、全部、民間でやってくれなんてね、そんなとこ、どこもないですよ。知ってますよね。やるとすると、仮に民間だったら、医師会などが集まって、なんぼかやって、お金を町から自治体から出すだとか、一定程度、出さなかったら出来ないですよ、そんなこと。公立病院ですとね、それは、北海道か町ですけど、民間も含めてやるとすると、何回も言いますが、例えば、緊急包括支援金を使うとか、今回のこの臨時交付金だって、使おうと思ったら使える。国のお金も使う、場合によっては、町独自で持ち出し、やる。それから、道立病院だけでは、中々、動かないかも知れない。江差町内、この近隣で、クラスターがね、2つ、3つ、起きちゃったら、もうね、とても太刀打ち出来ませんよ。その時に、しっかりと、道立病院だけではなく、地元でも、そういう対応が出来る。そうでない、普段でも、しっかりとさっき言った、観光客が出る、仕事もする、そういう危険な人達には、定期的に検査する。そういう場を提供しなかったら、本当に、沈んだ町にずううっとしなかったらならない。是非ね、検討してもらいたいんです。もう、今、全国でね、そういうとこ、出てますね。知ってると思いますけど、是非ね、この地元でも、江差町だけと、言いません。2次医療圏で、近隣町村と手を携えて、その対策をとって行く。だと思います。町長、どうですか。

(議長)

はい。副町長。

何で、言う事、聞かないの。副町長が答えなさい。同じことを答えればいいんでないですか。

「町長」

議長。

(議長)

駄目だって。副町長。駄目だ。何で、町長と副町長との答えが、違うのがい。同じでしょう。

「町長」

再程副町長が答弁をして、それから町長というお話ですから。(聞き取り不能)

(議長)

町長。

「町長」

今、小野寺議員から、PCR検査、あるいは医療体制、あるいは検査体制について、南檜山あるいは、江差町としての対応をしっかりとすべきだということ、ご指摘を受けたというふうに思います。思いは共有しています。ただ、問題は予算の面ではありません。医療体制の問題です。この南檜山の医療体制が、そもそも脆弱であるということ、これを例えば、PCR検査に人、人員、を配置した時に今までの医療体制が維持出来るのか。そのこともしっかりと考えた上で、判断していかなきゃいけないんじゃないかと、私は考えています。担当者のレベルでは、2次医療圏、南檜山圏域の担当者が集まって、医療機関、自治体が集まって、意見交換をしています。その中では、江差町内の医療機関は、これは担えないと、難しいと、PCR検査を受けることを検討することは難しいというような返事も頂いております。そういうことを考えるとですね、ただただ、行政、あるいは国からのお金を活用してですね、予算を付けたところで、地域の医療の中で、実現出来るかということを考えて時に、非常に難しさを感じています。私は、当然、小野寺議員と同じその地域でクラスターを発生させてはいけません。そして、発生した場合にしっかりと対応しなければならない。それは、我々、自治体に課せられた大きな責任だと思っています。その責任をしっかりと担えるようにしなきゃいけないということと、今ある、地域医療を崩壊させてはいけません、そういうこともですね、しっかりと踏まえた上で、色々、検討していなければいけないのかなと考えております。北海道の方では、2次医療圏ごとに、検査体制を整えるというよう

な方針を持っています。その方針を道が中心となってですね、この南檜山で、どうやって実現するのか。保健所や道立病院、各種の南檜山5町のですね、自治体、病院、色んなところがしっかり足並みを揃えた中でですね、この地域からクラスターを発生させない、クラスターが発生した場合にはしっかり対応する。そういう構築をして行くためにはですね、予算だけではなく、医療体制、そういうものもしっかり踏まえた上で、各町としっかり足並みを揃えて、体制が出来るように、私も各町に呼び掛けるような努力をして参りたいと考えておりますので、ご理解願えればと思います。

(議長)

他に、質疑希望ありませんので、質疑を終結致します。

お諮りします。本案については、討論を省略し、直ちに採決したいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声)

(議長)

異議なしと認め、直ちに採決致します。

議案第1号、令和2年度江差町一般会計補正予算(第7号)について、原案に賛成の方の挙手を求めます。

(議長)

挙手多数であります。

よって、議案第1号については、原案のとおり、可決されました。

(議長)

日程第4、議案第2号、令和2年度江差町一般会計補正予算(第8号)を議題と致します。

提案理由の説明を求めます。

(議長)

町長。

「町長」(提案理由)

議案第2号、令和2年度江差町一般会計補正予算(第8号)についてでございます。今回の補正の内容につきましては、江差町名誉町民、青坂満氏が、去る7月14日にご逝去されたことに伴いまして、江差町表彰条例第3条第3項第2号の規定に基づき、町葬にて、取り行うための経費の補正をお願いするものでございまして、歳入歳出予算の総額にそれぞれ、377万円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ

れ、63億9,165万5千円とするものでございます。

補正予算の具体的内容につきましては、担当課長より説明致しますので、ご審議の上、ご承認頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

(議長)

財政課長。

「財政課長」(補足説明)

それでは、議案目次その2、でございます。そちらの方の3頁をお開き願いたいと思います。事業でございますが、江差町名誉町民、町葬でございます。18日、19日に取り行う、江差町名誉町民、青坂氏の町葬に係る補正でございます。祭壇、遺影壇の他、会場看板設置やしおりの印刷、その他、一般事務に係る経費の補正をお願いするものでございます。

補正額は、377万円でございます。全額一般財源としてでございます。説明は以上でございますので、宜しくお願い致します。

(議長)

以上で、提案理由の説明が終わりましたので、質疑を許します。
質疑希望ありませんか。

(「なし」の声)

(議長)

質疑希望ありませんので、質疑を終結致します。
お諮りします。本案については、討論を省略し、直ちに採決したいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声)

(議長)

異議なしと認めます。直ちに採決致します。
議案第2号、令和2年度江差町一般会計補正予算(第8号)について、原案に賛成の方の挙手を求めます。

(議長)

挙手全員であります。
よって、議案第2号については、原案のとおり、可決されました。

(議長)

以上で、本臨時会に付議された議件は全て議了致しました。これで会議を閉じます。
令和2年第3回江差町議会臨時会を閉会致します。
皆さん、大変、ご苦労さんでした。

閉会 11時23分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

北海道檜山郡江差町議会

議長

署名議員

署名議員